

保育料無料化による経済負担の軽減について

フランス、スウェーデンなど出生率を向上させたヨーロッパ諸国に共通していることは、子育ての経済負担を軽減させたということです。国内でも有名な福井県など経済負担の軽減で出生率を向上させた自治体がたくさんあります。当市でも子どもの医療費無料化が中学3年生まで拡大され、市民からは大変喜ばれています。今後、当市において真剣に少子化対策を進めようと思うならば、保育料の完全無料化を進めていくべきだと考えます。多くの夫婦が子どもは3人以上ほしいと思っけていても、実際の子どもの数が2人以下である最大の理由に経済的負担の大きさの問題があります。そうした経済負担を軽減するために地方行政ができることは何よりも保育料の無料化ではないでしょうか。

若いお母さんたちと話をして必ず話題になるのが保育料の問題です。保育料が無料になるということは、単に家計が助かるということだけでなく、行政がきちんと子育ての問題に対処している、行政に対する信頼度のバロメーターだということです。